



糸島市立雷山小学校
1月号 校長 田中 健悟
令和4年1月11日

新年の御挨拶（成長する充実した一年に）

新年あけましておめでとうございます。今年も、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、子どもたちの命と健康を第一に考え、教育活動を進めて参ります。本年も、学校教育活動への御理解・御協力、どうぞよろしくお願い致します。

さて、新年のスタートにあたり、全校オンライン集会の中で、次の話をしています。

元旦に、「新年の抱負」について、お家の人とお話をした皆さんも多いと思います。

学校生活においても「今年どんなことに頑張ろうか」と考えることは、とても大切なことです。そこで、参考にしてほしいこととして、「よさ」についての話をします。

「よさ」は、いろいろな漢字で書くことができ、その意味は少しずつ違ってきます。

- ①良さ：何かが上手にできること（周りの人よりも何かの力が優れていること等）
- ②善さ：正しい行いができること（決まりを守ること、親切にすること等）
- ③好さ：誰からも親しまれ好かれること（人に優しいこと、笑顔が多いこと等）
- ④佳さ：振る舞いがきれいで品がよいこと（礼儀正しい、行儀がよいこと等）

皆さんには、①「良さ（何かが上手にできること）」の他にも、いろいろな「よさ」に目を向け、目標をもって、自分の「よさ」を伸ばしたり、あるいは自分や友達の「よさ」に気付いたりして、更に成長する充実した一年にしてほしいと思います。

教職員一同、子どもたちのいろいろな「よさ」に目を向け、価値付けしながら、子どもたちの健やかな成長につないでいきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底のお願い

福岡県でも、年末に「オミクロン株」の感染が初めて確認されました。さらに今月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数は、全国的に急増し、本県でも同様の状況にあります。

学校では、引き続き、児童玄関前での検温、健康状況観察カードの点検、マスクの着用、手洗い・うがい、換気等、これまでの感染対策を徹底して継続していきます。

御家庭でも、引き続き、朝の検温等の御協力をお願いします。

- 風邪や発熱等の症状が見られた場合は、学校に連絡の上、自宅で休養をお願いします。
- 学校で風邪や発熱等の症状が見られた場合は、早退となるため、お迎えをお願いします。
- 児童本人や同居家族がPCR検査受診となった場合、学校へお知らせください。

※児童本人や同居家族がPCR検査受診となった場合等、本人及び同居児童は「出席停止」扱いとなります。

1月・2月・3月の主な予定 ※感染状況により変更となる場合があります。

1/11 (火)	登校開始日、全校オンライン集会 地域集会（通学路の安全確認）	2/19 (土)	土曜授業（学年末分散参観） 2分の1成人式（4年生）
1/12 (水)	集団登校（～1/14：3日間のみ）	2/26 (土)	P T A 環境作業
1/14 (金)	委員会活動（4・5・6年生）	3/ 2 (水)	スマホ・ケイタイ安全教室（3～6年）
1/15 (土)	前原中学校入学予定者の制服採寸	3/ 8 (火)	地域集会（新登校班の確認）
1/21 (金)	クラブ活動（4・5・6年生）最終	3/ 9 (水)	新登校班での集団登校開始（～3/24）
1/25 (火)	オンライン英会話（5・6年生）	3/16 (水)	修了式（6年）
1/27 (木)	雷山小学校新1年生入学説明会	3/17 (木)	卒業証書授与式（6年生） （1～5年生 お休み）
2/10 (木)	6年生を送る会（各学級で録画視聴）		
2/16 (水)	第4回学校運営協議会	3/24 (木)	修了式（1～5年）

スマホやゲームの使用時間制限について

冬休みのタブレット端末を活用した家庭学習（宿題）の取組具合は、担任が持つ指導者用タブレットで把握できるシステムとなっています。多くの子どもたちが、ベネッセのドリルパークの宿題を順調に進めることができたようです。御協力ありがとうございました。

さて、時代の変化に伴い、今後も子どもたちのタブレット端末等ICT活用の機会がますます増えることが予測されます。以前から、ゲームやスマホなどデジタル機器の長時間の活用や就寝前の活用においては、健康等への影響が指摘されており、糸島市の小学校P T A 連合会での取り決めで、小学生においては「午後8時以降は使用しないこと」「使用時間は、1日1時間以内」とされています。

先日、スクールカウンセラーの方から、ゲームやスマホ（動画視聴を含む）の長時間使用に伴う子どもの学力への影響について、仙台市が数年間調査した結果を踏まえたお話を聴く機会がありました。概略は、「同じ時間だけ勉強した生徒どうしの成績を比較すると、平日で1時間以上ゲーム等をした場合、長くすればするほど成績が低くなっている」そして、「やりすぎるとせつかくの努力を台無しにしてしまう可能性がある」ということです。調べてみると、東北大学加齢医学研究所と仙台市教育委員会との共同研究の報告書では、次のように提言されています。

「スマホもゲームもパソコンも、使うのはどんなに長くても1日1時間以内に抑えるべき」それ以上は、脳や心の働きを混乱させ、せつかく勉強して覚えたこともすぐに忘れさせてしまうような、悪影響が現れるのかもしれない。

【2019 学習意欲の科学的研究に関するプロジェクトリーフレット集より引用】

この調査内容に関する詳細については、東北大学加齢医学研究所所長（川島隆太 医学博士）の著書「スマホが学力を破壊する」（集英社新書）にも紹介されています。

子どもたちの健やかな成長のため、御家庭でも使用時間等の声掛けをお願いします。

